

東京 2020 パラリンピック 日本代表推薦の取材に関する対応ガイドライン

令和3年6月17日

一般社団法人日本障害者カヌー協会 広報担当

日本障害者カヌー協会は、この度メディアの皆様にご認識いただきたい「日本代表推薦選手の取材時における新型コロナウイルス感染症対策」をガイドラインとしてまとめましたので、ここにご案内いたします。

また、選手たちは6月14日から強化拠点である石川県木場潟カヌー競技場にて、パラリンピック事前合宿に参加する予定です。木場潟カヌー競技場はオリンピック出場予定選手、事前合宿に訪れる予定の海外の選手も多く利用されているため、選手たちの負担とならないよう日程を指定する形で、追って取材のご案内させていただきます。

限られた日程と、取材環境になってしまいますが、練習に集中して本番を迎えたいことや、COVID-19感染対策を含めた対応であるということをご理解頂き、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

なお、選手個人へのリモート取材につきましては、引き続き事務局窓口にて受け付けておりますが、お断りさせて頂く場合もございます。そうした際には選手個々の事情によるということをご理解いただきますようお願い申し上げます。

1 はじめに

本ガイドラインは、「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」をもとに、本会が行う広報、プレス対応活動と、それに伴う COVID-19 感染予防策に関して基本的に留意することをまとめたものです。

トレーニング・競技大会・イベント等においては、N T C など会場・施設のルールに準じるとともに、関連する競技団体と調整をし、状況に応じて最適な方法で感染予防策を実施します。なお、本ガイドラインは、今後の状況をふまえて逐次見直すことがあります。

2 広報・プレス対応における感染予防の基本的考え方について

本会は、主催する選手のトレーニング・競技大会・イベント・会議等の特性や選手の状況等を勘案して、広報・プレス対応活動における感染防止のために、選手・コーチ・スタッフはじめ関係者に周知のもと、記者等の取材者に遵守いただきたい事項を以下のとおり定めます。

3 感染防止策について

3-1 本会事業における取材対応

本会事業内の取材において感染防止のために記者等取材者に遵守いただきたい事項は以下のとおりで

す。これらの内容は取材案内時に周知します。もし遵守できない場合には、選手や他の取材者の安全を確保する等の観点から取材を取り消す、または途中退場を求めたりすることがあります。

(1) 取材前の対応

- ① 以下の事項に該当する場合は、自主的に取材を見合わせてください。
 - ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - イ 同居家族や身近な知人に感染者がいる、または感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② マスクについては、メディアの方で各自用意していただきます。
- ③ 事業内にてご案内させていただきます取材においては 2 週間前から毎日の体温測定を行い、記録シート（体調チェックシート）を提出いただきます。
- ④ 入場 3 日（72 時間以内）以内に実施した PCR 検査の陰性を証明できる書面をご掲示いただきます。
- ⑤ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施をお願い致します。

(2) 公開練習取材当日

- ① 受付にて検温を行う。37.5 度以上の場合は入場をご遠慮ください。
- ② 手指消毒を行ってください。
- ③ 入場前からマスクを常時着用してください。
- ③ 軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合は入場をご遠慮ください。
- ④ 受付を行うスタッフは、マスク（※）を着用してください。
- ⑤ ビブス等、身に着ける識別物を使用する場合は、複数での使いまわしをしないでください。

※体調の確認について

体調確認の具体的な方法は HP に掲載している健康チェックシートに記載の上、受付に提出をお願い致します。

(3) 公開練習囲み取材の注意事項

- ① 広さにはゆとりを持たせ、密になることを避けて下さい。
- ② 雨天以外は屋外での囲みとして、選手との距離を 2 m 以上あけてください。
- ③ 取材側は全員マスク着用として、取材側も密にならない状態を作るように心がけて下さい。
- ④ 取材時間は指定時間内をお願い致します。

(4) 撮影についての注意事項

- ① 広さにはゆとりを持たせて、ゾーニングをする場合があります。

- ② 棧橋及び乗艇中や艇の調整中の場所には立ち入らないでください。（遠方からの撮影）
- ③ 撮影ポジションは、ソーシャルディスタンスに配慮して、できるだけ間隔を空けてください。
- ④ 選手の練習中に艇に GO PRO など依頼がある場合は、事前に申請書に記載してください。
（選手に許可を得られない場合や練習に支障が出る場合はお断りする場合があります）

（５）個人トレーニング（選手地元）での取材について

- ① 取材のご依頼は、事務局を窓口にご連絡をお願いします。
- ② 企画書や申請書を作成いただき、文末記載の事務局兼広報担当(上岡)のメールアドレスにご連絡をお願いします。
- ③ 企画書・申請書の受領後、選手ならびにトレーニング施設に確認の上取材の可否をご連絡差し上げます。
- ④ 地元での取材に関しては、トレーニング地域や施設のガイドラインに基づき感染対策を講じて実施して下さい。

４．その他の留意事項

上記の感染防止策については、取材告知・案内、取材申請時に、対象となる記者等取材者に連絡をし、感染予防策の徹底を図ります。

また、取材者から COVID-19 感染症を発症したとの報告があった場合の対応方針については、別途、関係機関と協議をして決定します。

万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、取材当日に取材者より提出を求めた情報（前記）について、保存期間（少なくとも 1 か月以上）を定めて保存します。

スケジュールについては、COVID-19 感染状況などによって変更する場合がございます。

（以上）

ご不明な点は、下記までご連絡をお願い致します。

どうぞご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

事務局兼広報担当

上岡 央子（ウエオカ ヒサコ）

090-3703-1988

0314hisako@gmail.com